

# 認定NPO法人 アイキャン

代表者 直井 恵

## 日本所在地

住所：〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須  
3-5-4矢場町パークビル9F  
TEL：052-253-7299  
担当者：吉田 文

## フィリピン所在地

住所：67 Don Jose Street, Don Enrique Heights,  
Brgy Holy Spirit, Quezon City  
TEL：02-397-9054  
担当者：福田 浩之(日・英・タガログ)

ウェブサイト <http://www.ican.or.jp/>

その他SNS等  <https://www.facebook.com/ICAN.NGO>



## 団体目的

### 1. アイキャンの理念

「アイキャンな人(できることを実践する人)」を増やすことで、世界中の子どもたちが享受できる平和な社会をつくります。

### 2. アイキャンのビジョン

(1)フィリピンのいかなる危機的状況にある子どもの課題をも解決できる能力を持ちます。

(2)一人でも多くの人々に、社会問題の解決に貢献する機会を提供し続けます。

## 設立背景

アイキャンは、フィリピンを旅していた1人の会社員が、路上の子どもが置かれた過酷な現状を目の当たりにし、「何かできることはないか」と考え、友人と集めた5万円で1994年に設立されました。「アイキャン」という名称には、政治や宗教、人種、国籍にかかわらず、一人ひとりの「できること(ICAN)」を持ち寄って活動を進めるという意味が込められています。たった1人から始まった団体ですが、今では70名を超える有給スタッフと約200名のボランティアが「できること」を持ち寄ることによって、フィリピン全土で幅広い活動を行っています。

## フィリピン事業地

1. ルソン島 メトロマニラ マニラ市、ケソン市
2. ルソン島 リザール州 サンマテオ市
3. ミンダナオ島 コタバト州 ピキット町
4. ミンダナオ島 マギンダナオ州 マタノグ町
5. ミンダナオ島 ブキドノン州 サンフェルナンド町

## 事業概要

### I. 危機的状況にある子どもたちと「ともに」行うプログラム

子どもたちが貧困や紛争に苦しむことのない平和な社会を目指し、4事業を実施しています。

1. 紛争の影響を受けた子どもたち(コタバト州ピキット町、マギンダナオ町)

平和教育実施能力および紛争調停能力強化事業等

2. 路上の子どもたち(マニラ市、ケソン市、サンマテオ市)  
路上教育、協同組合強化、カウンセリング、短期・長期保護施設の運営等
3. 先住民の子どもたち(ブキドノン州)  
先住民の人々の生活向上に向けた、教育環境改善、ソーラーラントンの提供等
4. ごみ処分場周辺に住む子どもたち(ケソン市)  
フェアトレード商品生産者団体の組織強化活動等
5. 自然災害の影響を受けた子どもたち  
教育環境の復興活動等

### II. 「できること(ICAN)」を増やすプログラム

社会問題の解決に向けて行動する人や団体で溢れる社会を目指し、8事業を実施しています。

1. 国際理解教育事業  
講演、帰国報告会、事務所訪問受け入れ、海外研修の実施等
2. 語学教室事業  
市民の語学力向上と開発課題への理解促進を目指す、英会話・フィリピン語会話教室
3. スタディツアー・研修事業  
フィリピンでの「貧困」問題の啓発
4. フェアトレード事業  
ごみ処分場周辺地域の住民が生産するフェアトレード商品の販売、啓発等
5. NGO相談員事業  
中部地域のNGOや国際協力に関する相談対応、出張講演等(外務省より受託)
6. インターン育成事業  
将来NGO職員となる人材の育成
7. 政策提言  
NGO外務省連携推進委員会、NGO-JICA協議会への出席等
8. MYアイキャン事業  
書き損じハガキ等の物品回収、街頭募金等のボランティアの機会提供

### 団体構成員

日本事務所：有給専従6名、有給非専従2名  
 フィリピン事務所：有給専従18名(内日本人3名)、  
 有給非専従1名、無給非専従2名(内日本人1名)

### 収支実績

2017年5月～2018年4月  
 収入：234,354,301円  
 支出：220,514,562円

### 事業分野



コミュニティ



産業



人材



生活



金融



救援



地球環境



平和・政治



人権全般



その他

(路上の子どもの児童養護施設運営、路上の子どものカフェ運営、地域組織化、診療所運営、保健教育、BOPIビジネス、外務省NGO相談員、フェアトレード、海外研修、国際理解教育、語学教室運営等)

### 企業、大学、行政等との連携実績

連携年月	連携先	内容
2017年 1月26日	パナソニック	無電化の先住民コミュニティへのソーラーランタン提供事業
2017年 3月21日	外務省	ミンダナオ島バンサモロにおける平和教育実施能力及び紛争調停能力強化事業
2017年4月1日	あいちモリコロ基金	イエメン紛争に対する市民のアクションプラン
2017年4月1日	積水ハウス	フィリピンミンダナオ島先住民の子どもたちの教育環境向上事業
2018年 3月20日	外務省	ジブチ共和国におけるイエメン難民青少年のライフスキル向上及び保護事業
2018年 3月21日	ジャパンプラットフォーム	イエメン紛争被害者に対する緊急救援物資提供事業
2018年 4月1日	ゆうちょ財団	フィリピン初の路上の若者の協同組合カリエによるカフェ運営プロジェクト
その他：寄付を通じた連携(企業、法人、学校等) 2015年度：企業団体連携寄付150件、2016年度106件、2017年度：105件		

### 活動への参加方法

- 会員制度
- 会員以外の支援者制度(ドナー、サポーター等)
- 物品寄付
- ボランティア
- インターン
- 報告会、学習会
- パネル、写真展
- ワークキャンプ
- スタディーツアー
- バザー(フェアトレード商品購入含む)
- その他(事業地の一日訪問)

※詳細は団体へお問い合わせ下さい

### 活動風景



- 1 紛争地や災害被災地の子どもたちに学用品等を提供
- 2 路上の子どもたちを保護する児童養護施設「子どもの家」の運営
- 3 マニラの路上の若者によるカフェ運営活動
- 4 技術訓練による生計向上事業(フェアトレード商品の生産)

# 特定非営利活動法人 アクション

代表者 横田 宗

## 日本所在地

住所：〒180-0023 東京都武蔵野市境南町  
3-10-1 パールハイツタカハシ1F  
TEL：0422-26-6123  
担当者：長田 幸子

## フィリピン所在地

住所：Unit No.9-A 4th Floor, RM Centrepoint,  
Rizal Avenue, Cor.Magsaysay Drive, East  
Tapinac, Olongapo City, Philippines 2200  
TEL：+63-47-602-1710  
または 047-602-1710  
担当者：山本 浩平(日・英・タガログ)

ウェブサイト <http://actionman.jp/>

その他SNS等 Facebook、twitter、instagram (ウェブサイトからアクセス可能)



## 団体目的

生まれた環境に関わらず、世界の子ども達が自分のチカラで夢や可能性を広げることができる、やさしい社会をつくることを目指す。フィリピンと日本の貧困層の子ども達や施設の子ども達が、社会で自立していく為のチカラを身につける機会を提供するチカラプロジェクト(職業訓練、教育・ケア活動)を行っている。また、子どもを取り巻く環境を整えるための活動として、マニラ首都圏と中部ルソン地域で児童養護施設の養育体制強化研修の実施及びフィリピン行政機関に対する「ハウスペアレント研修規定」を提案し、政策提言活動も行っている。

## 設立背景

代表の横田が高校3年生のときに、フィリピンのピナトゥボ火山の噴火により被災した孤児院を訪問したことが活動のスタートとなる。当時英語も話せず、現地で頼る人もいなかった横田を、現地の人々が温かく迎え入れてくれたことがきっかけとなり「フィリピンの人々に恩返しをしたい。」という思いで団体を設立。

当時は被災した孤児院や周辺地域の修繕を行っていたが、孤児院の子どもが抱える課題、その背景にあるフィリピンの貧困の根深さを目の当たりにし、子どもに直接裨益する事業に加え、現在では政策提言活動も行う。また、海外ボランティア体験事業も実施し、多くの人が国際協力に参加できる取り組みも行う。

## フィリピン事業地

### ▼フィリピン事務局/チカラプロジェクトスタジオ

ACTION Inc./ Chikara Project Studio  
Unit No.9-A 4th Floor, RM Cneter Point Mall, Rizal Avenue,  
Cor Magsaysay Drive, East Tapinac, Olongapo City, Philippines  
2200 TEL. +63-47-602-1710

▼マニラ事務局 Unit A101 ACPI Building, 1019 EDSA  
Avenue, Project7, Veterans Village, Quezon City, Metro  
Manila, Philippines TEL.+63-2-376-9498

▼エコミスマ事務局 ecomismo handykraft  
2nd floor 17E N. Naval st, Brgy Flores Malabon city Metro  
Manila, Philippines 1471

## 事業概要

### 【フィリピン】

#### ▼チカラプロジェクト

施設や貧困地域の子ども達に対して、子ども達が自分自身で自立に向かうチカラを身に付けることを目標に、職業訓練としてハサミのチカラ(美容師養成)と癒しのチカラ(セラピスト養成)、教育・ケアとしてダンスのチカラ、空手のチカラ、食のチカラ、教育のチカラを実施。

#### ▼児童福祉施設職員研修

施設の子ども達がよりよい環境で生活できるように、中部ルソン地域とマニラ首都圏の施設の職員に対して研修を実施。\*JICA草の根技術協力事業

#### ▼児童養護施設支援

朝食支援や学用品支援、施設の修繕を実施。

#### ▼ストリートチルドレン、貧困地域支援

現地NGOと提携し、ストリートチルドレン向けの青空教室を実施。また、貧困地域の小学校で栄養失調状態にある子どもへの給食支援を実施。

#### ▼女性の所得向上支援

マニラとオロンガポ市にて、経済的貧困により家庭での養育が不十分な子ども達を支援するために、貧困地域の母親のフェアトレード製品製作事業を実施。

### 【日本】

#### ▼海外ボランティア体験事業

フィリピンの各事業地へ日本人ボランティアを派遣。(年間約100名/2・3・8・9月)

#### ▼学習支援事業

児童養護施設と地域の子どもを対象に、子ども達の「生きるチカラ」を育むための学習支援。

#### ▼国際理解教育/講演会の実施

武蔵野市主催土曜学校「世界を知る会」の企画・講師/小学校~高校と協働での授業作りと実施/大学での講師や講演活動。

#### ▼児童養護施設へのボランティア派遣事業

学習ボランティアやイベントボランティアの派遣。



### 団体構成員

日本事務所：有給専従2名、無給非専従1名  
 フィリピン事務所：有給専従20名(内日本人1名)、無給専従日本人2名

### 収支実績

2018年1月～2018年12月  
 収入:51,639,875円 支出:49,343,325円

### 事業分野



### 企業、大学、行政等との連携実績

連携年月	連携先	内容
2016年～2019年	国際協力機構(JICA)	草の根技術協力事業(パートナー型) 「児童養護施設の養育体制強化を通じた子ども達の成長と自立を促進するプロジェクト」
2015年～	株式会社リジョブ	チカラプロジェクトで癒しのチカラ(マッサージセラピスト養成講座)実施
2014年～	特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO	フィリピンの貧困地域における給食支援プロジェクトの実施
2004年～	東京都武蔵野市	武蔵野市内の小学生への国際理解教育「世界を知る会」の実施

### 活動への参加方法

- 会員制度
- 会員以外の支援者制度(ドナー、サポーター等)
- 物品寄付
- ボランティア
- インターン
- セミナー
- 報告会、学習会
- ワークキャンプ
- スタディーツアー
- バザー(フェアトレード商品購入含む)

※詳細は団体へお問い合わせ下さい

1 貧困地域における給食支援プログラムの様子 2 ストリートチルドレンへの青空教室の様子。元タストリートチルドレンだった子がエドゥケーターとして活躍 3 日本ではイベント出店も積極的に行ない、フィリピンの女性達が製作した商品などの販売にも力を入れている 4 孤児院の子ども達の(ための)職業訓練の様子。日本の美容師の協力のもと美容師の職業訓練を行なう 5 貧困地域の女性への所得向上支援プログラムの様子。お菓子の袋を再利用した商品制作を行なう 6 海外ボランティアプログラムの様子。写真はホームステイ中の一コマ



活動風景